

## 第73回 ここからカフェ九品仏

### 食について考える

～伝統食で腸活を～

日時：2024年4月20日(土)  
10:00～11:45  
(通常と時間が異なります。)  
会場：九品仏複合施設 2階  
講師：「なんてったって！伝統食の会」  
栗原澄子さん 太郎良一枝さん  
参加費：300円+300円(試食代)  
※要予約  
申し込み：090-3961-8514(湯澤)

## 第98回 お隣さまお茶会

### おとなのための楽しい エッセイと小説と絵本の朗読

日時：2024年4月8日(月)  
13:30～15:30  
会場：スペースえんがわ inn  
講師：朗読と本の教室のみなさん  
参加費：500円 ※要予約  
申し込み・問い合わせ  
03-3721-8699  
玉川まちづくりハウス

## 第46回 玉田シニアサロン

### 海との共存について 廣川 登也 さん

一般社団法人セイラーズフォーザシー日本支部  
東京大学博士課程一年

日時：2024年4月7日(日)  
14:00～16:00  
会場：玉川田園調布会館  
参加費：500円  
お申し込み・お問い合わせ  
03-3721-8699  
玉川まちづくりハウス

### ハウスの会員数

特別正会員 5名  
正会員 28名  
ニュース会員 69名

4月号にかかわったひと  
伊藤雅春 染野和夫  
手塚由美 高橋阿貴  
小西玲子 柴田希美絵  
昆野敬子

## ハウススケジュール フレイバック

予定ではなく、記録としてお届けします。  
予定・詳細はHP <https://tamamati.com/>にてご確認ください

- 3日(日) 玉田シニアサロン / 玉川田園調布会館
- 7日(木) 楽多の会定例会 / デイ・ホーム玉川田園調布
- 8日(金) 玉川まちづくりハウス定例運営委員会 / スペースえんがわ inn
- 11日(月) 住宅まちづくり総合相談 / 世田谷区役所
- 13日(水) お隣さまお茶会 vol.97 / スペースえんがわ inn
- 14日(木) プレーリヤカーでの公園遊び / 奥沢(タイヤ)公園
- 17日(日) プレーリヤカーでの公園遊び / ねこじゃらし公園
- 23日(土) 街角保健室@おひさま日和 / スペースえんがわ inn
- 24日(日) 住宅まちづくり総合相談 / 玉川総合支所
- 28日(木) タマデンmarche / アビターレ前

## 4

### ハウスカレンダー

- 4日(木) 楽多の会定例会 10:30～12:00 デイ・ホーム玉川田園調布
- 7日(日) 玉田シニアサロン 14:00～16:00 玉川田園調布会館
- 8日(月) お隣さまお茶会 vol.98 13:30～15:30 スペースえんがわ inn
- 11日(木) 住宅まちづくり総合相談 13:30～15:30 世田谷区役所
- 12日(金) 住宅まちづくり総合相談 13:30～15:30 玉川総合支所
- 16日(火) 玉川まちづくりハウス定例運営委員会 9:30～11:00 スペースえんがわ inn
- 17日(水) プレーリヤカーでの公園遊び 10:00～12:30 奥沢(タイヤ)公園
- 17日(水) プレーリヤカーでの公園遊び(ねこじゃらし公園) 10:00～12:30 ねこじゃらし公園
- 20日(土) 街角保健室@おひさま日和 13:30～15:30 スペースえんがわ inn
- 21日(日) ここからカフェ九品仏 Vol.73 10:00～11:45 九品仏複合施設3階
- 25日(木) タマデンmarche 11:00～15:00 予定 アビターレ前
- 28日(日) 住宅まちづくり総合相談 13:30～15:30 玉川総合支所
- 30日(火) 街角保健室ハートフルサロン「kotori」 13:30～15:00 スペースえんがわ inn
- 30日(火) せたがや防災NPOアクション事務局会議 18:00～20:00 オンライン
- 30日(火) 街角保健室@スペースB 13:30～15:30 スペースえんがわ inn
- 30日(火) プレーリヤカーでの公園遊び(ねこじゃらし公園) 10:00～12:30 ねこじゃらし公園

ハウスの最新の情報はHPをごらんください



HP: <https://tamamati.com>

## 玉川まちづくりハウスニュース

# みんなでホイッ!

4  
2024

発行 特定非営利活動法人玉川まちづくりハウス

〒158-0085  
東京都世田谷区玉川田園調布2-11-10 Email [house@tamamati.com](mailto:house@tamamati.com)  
tel.03-3721-8699 fax.03-3721-8986 URL <https://tamamati.com>

玉川まちづくりハウスは、住民主体のまちづくりをお手伝いする特定非営利活動法人(NPO法人)です。

## 報告会ではなく街角カフェを開催しました! 伊藤雅春

令和5年度独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業として取り組んできた「街角保健室プロジェクト」助成期間が3月31日で終了します。実行委員会に名を連ねたそれぞれの団体は、互いを知り、交流しあいながら、地域で、困ったときに安心して相談できる場所や人、日常的に自然に思いやる関係、トラブルが発生したときにオープンに話し合える関係などを備えたコミュニティの形に対する思いを共有できたのではないかと考えています。再び助成金が獲得できるかどうかはまったくわかりませんが、4月からも、ここで培われた経験を絶やさないように、取り組んでいきたいと考えています。

「街角保健室」プロジェクトが求めてきたものは、「リンクワーカー」というコミュニティアイデアだったのかもしれませんが。ある本によれば「リンクワーカーとは、孤立している個人やその支援者と面会し、本人の特性や興味関心などを聴取しながら、孤立の解決のために地域活動などつなげていく役割を担っている。イギリスでは主に医療者ではない人が担っており、地域によって「ヘルスコネクター」や「ケアナビゲーター」等と呼ばれることもある」と説明される概念です。

昨年5月に開催されたキックオフシンポジウムで「社会的処方」という言葉に出会いました。この3月に開催した「報告会(街角カフェ)」ではその場に漂う雰囲気から触発されて「リンクワーカー」のネットワークが「街角保健室プロジェクト」の目指しているものなのでは?と気づいたというわけ訳です。

「社会的処方」の提唱者西智弘氏は、最新の著書の中で「以前のように医療者が中心となって社会的処方を行っていくという流れから、リンクワーカー的に活動する住民＝市民リンクワーカーが主体となって実践を行っていく方向へ変化してきている」と書いています。今年の活動の流れの中でたどり着いた方向性があながち的外れなことではなかったと思わせてくれる指摘です。

実行委員会メンバーは、この報告会を敢えて「ゆるっと集う街角カフェ」と銘打ち、できるだけゆったりとした時間を体験できるよう計画しました。

夕暮れ間近の時間帯に、庭でのモルック(注2)体験からゆるっと会は始まりました。モルックは数字のついた木のピンを棒を投げて倒して得点を競うシンプルなゲームです。みんな初めての共同体験でした。少し暗くなってから、室内に場所を移し、この一年間の活動報告をそれぞれの方から聴き、その後美味しい料理をいただきながら街角カフェの交流の時間を楽しみました。

報告の中にもありましたが、わたしたちの目指す街角保健室は、相手の話をゆったりと聴く活動スタイルを大切にしています。街角保健室の報告会を通して、ゆったりと相手の話に聴き入る時間が大切だということを実感することができたのではないのでしょうか。



庭でモルック体験



報告会(街角カフェ)の様子

注1 『みんなの社会的処方』西智弘/編著 学芸出版社 2024.3.1

注2 モルックとは、フィンランド発祥の投げき競技。『モルック』と呼ばれる木の棒を投げて、『スキットル』と呼ばれる数字が書かれた木の棒を倒して点を取る

## 一般社団法人輝水会「Sport in Life アワード」団体部門優秀賞受賞！

街角保健室プロジェクトをともに進めている実行委員会メンバー、一般社団法人輝水会。https://kisuikai.com/

この度、スポーツ庁の「Sport in Life アワード」団体部門で優秀賞を獲得されました！！

レジリエンス・スポーツ®を謳い、スポーツを通じて、全ての人々が「障害の有無に分け隔てられることなく、一緒に楽しむ文化」を新しい価値観として地域社会に提案することを目標に、世田谷を基盤にこの周辺では九品仏地区会館や、ふくろうクリニック等で、だれでも楽しめるスポーツによるつながりを作っている団体だ……とは知っていたのですが、恥ずかしながら、スポーツ庁の役割や、活動について何も知らず、輝水会の活動についても、ただ知っているだったと反省しています。みなさんに、輝水会の活動を知っていただくこと、さらにこれから他の街角保健室メンバーがどれほど活躍しているかも知っていただきたいと思っています。



一般社団法人輝水会の代表手塚由美です。

3月5日、スポーツ庁の第3回 Sport in Life Award（生活の中にスポーツの実現を目指し、スポーツ人口拡大への貢献に資する取り組みを表彰）に地域におけるスポーツを通じた、障害のある人の社会生活自立支援の取り組みとして「障害のある人の定期的なプール活動（健康作り）」を応募した所団体部門で優秀賞を受賞いたしました。

障害がある事でスポーツ実施率は激減する事に加え、プールでの活動は、危ないのではないかなどの懸念も多く、安心して活動できる場がないと言

われることが多くあります。安心できる施設環境のプールを利用することや、サポートする人の存在があれば、「水中の特性」により思いのほか自由に動くことができ、また泳ぎにチャレンジすることも可能です。障害のある人にとってプールは、水に入れてだけでも自信になり、物事へチャレンジする「心のきっかけ」を作る場なのです。

活動を毎週定期的に継続することで、参加者から「体力がついた」「プールの帰りは杖歩行の足が軽い」「陸上では出来ない動きがプールでは簡単にできて楽しい」等、嬉しい感想をいただいています。地域にある既存のプールを利用し定期的に活動することは、障害により併発する二次的健康被害を防止することにもなり、大きな必要性を感じています。

今回の受賞を励みに、障害のある人が当たり前定期的にスポーツ活動の場を得られるよう、私たちの支援ノウハウを地域や団体と共有しながら力を注いでいきたいと考えています。



### 「街角保健室」プロジェクト実行委員会

- ・九品仏あんしんすこやかセンター
- ・ふくろうクリニック自由が丘（地域医療）
- ・輝水会（レジリエンス・スポーツ）
- ・オフィス侑（ファイナンシャルプランナー）
- ・玉川まちづくりハウス（コミュニティデザイン）

毎月、毎週、まちのどこかで人が集い、暮らしの心配事を聞いてもらえる場所のあるまちを育てていきましょう！



## 暮らしのつばやき 4月

### 福岡の動物園

年上の友人と福岡に遊びに行ってきました。出張でよく行くのですが、遊びで行ったことはほとんどなく、どこに行こうかと探して見つけたのが、福岡市内にある動物園&植物園。

バスを使えば割と移動時間も短くかからず行けます。山を一つ動物園にしたような高低差をいかした動物たちの住居が面白かったです。犬小屋のように地面にペンギンの小屋が沢山設置されており、中に一羽ずつペンギンが寝そべっていたのが印象的でした。

### 春一番

3月後半は風が強い日々が続いて、歩くのも一苦勞でした。

特に背の高いビルの上の方の階にいたりすると、吹き付ける風が空調のどこかを通してびゅうびゅうと音を立てていて、どこかで何かが剥がれ落ちたらどうしよう、と不安になるくらい。

桜が咲く前でよかったと思いつつ、首回りにマフラーをまいてやり過ごしました。

## 地域 GAYAGAYA

地域の動きや、話題を地域の方々に手伝っていただいで紹介していくコーナーです。



地域の歴史を辿る  
その 17

### 第17回 田園調布の開発 その1 奥沢地誌保存会・染野和夫

今月号から「田園調布の開発」について何回かに分けてお話しを致します。

歴史を辿るシリーズ、いよいよ近代前期の明治時代から近代後期の大正時代に入ります。大正時代前期の東京の中心部は、第一次世界大戦の戦争特需などの影響で急激な都市化が進み、人口集中による住環境の悪化が大きな問題となっていました。

「日本近代資本主義の父」と呼ばれた渋沢栄一氏は、東京での家がひしめき合う生活には自然の要素が欠けていることを憂い、自然の緑豊かな理想的な住宅地として「田園都市」を造ろうと提唱します。この提案は日本で最初の田園都市計画と云われています。

この構想を具体化するため、渋沢栄一氏は同志等に呼びかけて大正5年（1916年）11月、田園都市株式会社の創立委員会を開催、渋沢氏が委員長になります。大正7年（1918年）1月には、田園都市株式会社設立趣意書が発表され、会社設立に向けた準備が加速します。



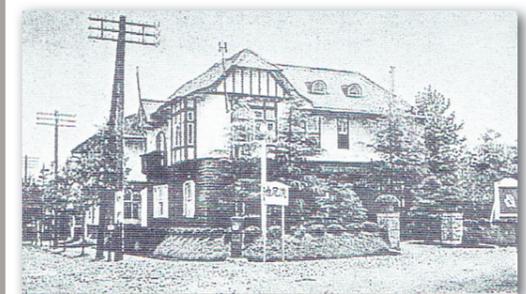
渋沢栄一氏



田園都市会社案内

煤煙飛ばす塵埃揚らす  
眞よ絶好の保健地！  
田園都市へ御住み下さい！  
田園郊外の趣味を享受し併て  
文明の施設を應用出来る地は  
他にありません。  
機會は今です！何は兎もあれ  
先ず現場へ！

そして同大正7年（1918年）9月2日、「理想的な住宅地『田園都市』の開発」を目的とした「田園都市株式会社」が設立されます。資本金50万円、発起人に渋沢栄一氏が、社長には中野武宮氏（元東京市会議員、市議会議員、東洋製鉄（株）社長、東京商法会議所2代目会頭）、専務取締役に竹田政智氏（東京横浜電鉄取締役、後・目黒蒲田電鉄初代社長）、取締役に服部金太郎（服部時計店社長）、他3名が就任しました。



洗足駅近くの田園都市会社本社

会社設立を先導し発起人となった渋沢栄一氏は、既に実業界から引退しており、年齢も78才になっていたことから相談役に就き、子息の渋沢秀雄氏（栄一氏の四男）が支配人として実務にあたることになりました。

翌大正8年（1919年）8月、渋沢秀雄氏は田園都市視察のため欧米11カ国訪問に出発します。いよいよ田園都市の開発が本格的にスタートしました。

### 旅行の記憶

どこかに出掛けてすてきな風景を見たりおいしいものを食べたとしても、全部を覚えておくことは難しいです。後から思い返した時にサッと出てくるのは、私の場合、誰かに向かって「こんなことがあったんだよ」と伝えた場面でした。

あの人にこの景色の感動を伝えたい、こんな珍しいものを食べたんだよと言って感想を聞いてみたい、と思うことが記憶に残るんだと思います。

### 新年度

3月は、4月の新しい環境に向けて、出会いと別れの時期。

昨年度はあまり感じなかったのですが、今年度は自分の周りの環境がわりと変わることもあり、さみしさと期待が入り混じる気持ちです。

ここから新しい環境に踏み出す人も、踏み出す誰かを送り出す側の人、気持ちよい区切りを迎えることができますように。

（貴）